

令和2年度 明保小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康でたくましく、確かな学力と豊かな人間性をもち、ともに支え合いながら変化する社会を主体的に生き抜く児童の育成

- ・健康でたくましい子
- ・進んで考え、最後までやりぬく子
- ・思いやりがあり、誰とでも仲良くする子
- ・ふるさとの人や自然を大切にする子

《合い言葉：元気・やる気・勇気・思いやり》

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- (1) 人間尊重を基盤として、児童・保護者・地域との信頼関係を築く学校づくり
- (2) 教職員としての使命感とチーム力を高め、創意・工夫を生かす学校づくり
- (3) 知・徳・体の調和のとれた発達と協働する力を育む学校づくり
- (4) 学校・家庭・地域の教育力を生かし合う地域とともにある学校づくり
- (5) 安全管理や危機管理への徹底を図り、安心して生活できる学校づくり

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○確かな学力を育成するために、基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等を育む学習指導の充実に努める。
- (2) ○豊かな人間性を育むために「宮っ子心の教育」を推進し、認め励ます教育や多様な体験活動の充実に図る。
- (3) ○健康で安全な生活を送る力を育むために、体力向上や保健教育、食育教育、安全教育に関する指導の充実に図る。
- (4) 地域や社会の一員として、主体的・協働的な課題解決力や社会への参画力の向上を図るとともに、情報化社会で生きる資質・能力の育成を図る。
- (5) 多様な児童への理解と教育的ニーズへの適切な対応を図るために、児童指導や特別支援教育の充実に図る。
- (6) 信頼される教職員として資質・能力の向上を図るとともに、働き方改革を通して業務の効率化を図り、学校としてのチーム力を高める。
- (7) 地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに、地域協議会と連携し、学校経営の改善に努める。
- (8) 安全で安心して学校生活を送ることができるように、安全管理体制や危機管理体制を確立し、事故防止に努める。

【宮の原地域学校園教育ビジョン】

心豊かで輝く子どもの育成 ～ほめて伸ばす（自己肯定感を高める）～

【重点課題】

- ★基礎的・基本的な学力を身に付けさせる。（自ら学ぶ児童・生徒の育成）【学力向上部会】
- ★思いやりを高め規範意識の向上を図る。【学校生活適応支援部会】
- ★継続した筋力向上をめざし、健康で安全な生活を営ませる。【健康・体力・食育促進部会】
- ★小中および地域の交流促進を目指し、情報共有化を図る。【交流連携促進部会】
- ★学校事務の効率化・平準化を図り、学校づくりを支援する。【地域学校園事務室部会】

4 教育課程編成の方針

- ・創立147年の歴史と伝統を踏まえ、学校・地域・児童の実態を適切に把握し、特色ある教育課程を編成する。
- ・全職員協力の下、学校経営計画に示された具体策や特色ある学校づくりに関する取組のために必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていく。
- ・学校教育活動全体を通じた組織的なPDCAサイクルの活性化により教育課程の実施状況を評価し、必要な人的・物的な体制を確保するとともにその改善を図っていく。
- ・教育活動実施時数においては、宇都宮市小中一貫カリキュラムを基準として編成し、1年生は安全上2年生と同様に、予備時数は基礎的・基本的内容の徹底(国・算)を中心に計画的に運用する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

○信頼される教職員集団を築き、地域とともに主体的・協働的な学びを推進する教育活動の推進

【学習指導】

○問題解決に向けて、自ら考え、ともに学び合う児童の育成～言語活動と協働的な学び合いを通して～

【児童生徒指導】

○基本的な生活習慣の確立と自他を尊重する態度の育成

【健康(体力・保健・食・安全)】

○健康の保持増進や体力づくりに励み、たくましく生きる児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価								
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。 <児童アンケート90%>	○互いの思いや考えを伝え合う場を授業に意図的、効果的に設定し、言語活動の充実を図り、学び合い、高め合う授業の工夫改善を推進する。 ・自分の考えを記録し、自信をもって発言できるよう支援する。 ・日記等、「書く」機会を継続して学習活動に取り入れる。 ・児童が発言したり、考えを友達と伝え合ったり学び合ったりする活動を計画的に学習活動に取り入れる。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>93.4%</td></tr></table> 【次年度の方針】 今後も言語活動の充実を図り、論理的に考える力を伸ばし、主体的な学びを支援していく。	教職員	100.0%	保護者	90.9%	地域住民	／	児童	93.4%
	教職員	100.0%										
	保護者	90.9%										
	地域住民	／										
児童	93.4%											
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。 <児童アンケート90%>	○道徳を中心に、教育活動全般で「思いやり」の指導を充実させる。また、エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの手法を取り入れ、仲間意識を高める。 ○異学年や縦割り班による活動を充実させ、互いを認め、大切にすることを育てる。 ・「縦割り班で遊ぼう集会」の複数回の実施 ・「ありがとう集会」の実施 ・縦割り班清掃の実施 ・フラワーロードさわやか集会の実施 ・縦割り班によるなわとび検定の実施 ・正しい言葉遣い ・名前に「さん」をつける。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>91.7%</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.1%</td></tr></table> 【次年度の方針】 道徳の校内研修等を通じ、教員の資質能力の向上を図る。 今後も縦割り班活動の充実を図り、思いやりの心を育てていく。	教職員	100.0%	保護者	90.9%	地域住民	91.7%	児童	90.1%	
教職員	100.0%											
保護者	90.9%											
地域住民	91.7%											
児童	90.1%											
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児童は、きまりやマナーを守って、生活している <児童アンケート85%>	○生活目標を設定し、目標の掲示や放送による呼びかけを実施するとともに、児童自身が学校生活を振り返る機会をもつことにより、規範意識を高める。 ・「明保小のよい子」に基づいた日常的な指導の充実と生活当番を中心とした全校体制での指導の徹底により、望ましい生活習慣の定着を図る。 ・学校生活の約束を保護者に周知し、理解と協力を得る。	A	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>児童</td><td>85.7%</td></tr></table> 【次年度の方針】 放課後の夏時間、冬時間の設定をし、帰宅する時間を周知徹底させる。 体育委員による給食時の放送の呼びかけを通して学校生活で守るべきルールを確認し、実践につなげていく。	教職員	97.1%	保護者	89.4%	地域住民	100.0%	児童	85.7%	
教職員	97.1%											
保護者	89.4%											
地域住民	100.0%											
児童	85.7%											
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児童は、時と場に応じたあいさつをしている <保護者アンケート80%>	○クラスによる「あいさつ運動」を定期的に実施し、児童の意識向上を図るとともに、活動の様子を保護者や地域に周知し、運動への参加協力を求め、活動の拡充を図る。 ○交通指導員や見守り活動団体の方々に感謝の気持ちを表せるよう指導する。また、特に登校指導の機会を利用し、地域の方へ進んで挨拶をできるよう指導する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.1%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>78.7%</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.8%</td></tr></table> 【次年度の方針】 保護者、地域住民の評価が低いため、校内での取組を引き続き学校だよりや学年だより等で定期的に掲載し協力を呼び掛ける。	教職員	97.1%	保護者	80.1%	地域住民	78.7%	児童	90.8%	
教職員	97.1%											
保護者	80.1%											
地域住民	78.7%											
児童	90.8%											

A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 <児童アンケート85%>	○自分のめあてや目標をもつ場面を意図的に設定する。 ・振り返りの場面を設定し、あきらめずに粘り強く取り組む姿を推奨する。 ・学年のめあてや学期のめあてを明確にして掲示したり、長期休業前の振り返りカードで振り返ったりする活動を通して、粘り強く取り組めるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>74.8%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.0%</td></tr></table> 【次年度の方針】 キャリアパスポートを有効活用し、自分のめあてや目標を明確にして、粘り強く取り組むよう支援していく。	教職員	97.1%	保護者	74.8%	地域住民	／	児童	89.0%
教職員	97.1%									
保護者	74.8%									
地域住民	／									
児童	89.0%									
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 <児童アンケート90%>	○食育だよりや保健だよりの定期的な発行や「お弁当の日」の実施などにより、家庭で食や健康に関する話合いの機会をもてるよう保護者に働きかける。 ○授業中や休み時間、登下校時など、日常生活場面において、機会をとらえて健康で安全な行動ができるよう全職員で指導する。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>96.4%</td></tr><tr><td>児童</td><td>93.7%</td></tr></table> 【次年度の方針】 本年度の具体策を継続していきながら、検温、手洗い等の徹底を図り、より一層健康や安全に生活できるよう取り組んでいく。	教職員	97.1%	保護者	90.9%	地域住民	96.4%	児童	93.7%
教職員	97.1%									
保護者	90.9%									
地域住民	96.4%									
児童	93.7%									
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 <児童アンケート85%>	○社会や地域の人々の役立つことの大切さを理解し、社会に貢献しようとする態度を育てる。 ・振り返りの場面を設定し、あきらめずに粘り強く取り組む姿を推奨するとともに、社会に貢献しようとする態度を育てる。 ○生活科や総合で、社会との関わりについて学習したことを実際の生活に生かそうとする態度を育てる。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>74.8%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.0%</td></tr></table> 【次年度の方針】 様々な体験活動を通して、社会の一員としての自覚を育て、社会に貢献しようという意識を育てていく。	教職員	100.0%	保護者	74.8%	地域住民	／	児童	89.0%
教職員	100.0%									
保護者	74.8%									
地域住民	／									
児童	89.0%									
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児童は、外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。 <児童アンケート90%>	○積極的に英語を使ってコミュニケーションを図るよう授業の工夫・改善を図る。 ・自分の思いや考えを伝え合う場を授業に意図的、効果的に設定し、外国語活動・外国語科の充実を図る。 ・英語を使つての学習活動を通し、伝え合う楽しさや喜びを十分味わわせ、コミュニケーション力や書く力の向上を図る。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>93.5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.7%</td></tr></table> 【次年度の方針】 話すやり取りだけでなく、カードの交換や作成物の見せ合いなど、様々なコミュニケーション方法を取り入れていく。	教職員	93.5%	保護者	／	地域住民	／	児童	89.7%
教職員	93.5%									
保護者	／									
地域住民	／									
児童	89.7%									
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 私は、宇都宮の良さを知っている。 <児童アンケート85%>	○社会科・総合的な学習の時間などにおいて、宇都宮や地域の良さについて学習する機会を意図的に設定する。 ・宇都宮や地域の良さについて、歴史や特産物などの学習を通して、自分の思いや考えを伝え合う場を意図的に設定し、授業の充実を図る。	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>76.5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>51.3%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>82.1%</td></tr></table> 【次年度の方針】 様々な教科で機会を捉えて宇都宮の良さを学習したり、授業の充実を図ったりして、宇都宮に愛着をもてるようにしていく。	教職員	76.5%	保護者	51.3%	地域住民	／	児童	82.1%
教職員	76.5%									
保護者	51.3%									
地域住民	／									
児童	82.1%									

目 指 す 学 校 の 姿	A10 児童は、I C T機器や 図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 児童は、パソコンや図書等 を学習に活用している。 ＜児童アンケート85＞	○国語科や理科・社会科・総合的な学 習の時間などにおいて、I C T機器 や図書等を学習に活用する機会を意 図的に設定する。 ・調べたりまとめたりする活動におい て、コンピュータや図書等を効果的 に活用し、多角的な学習の充実を図 る。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td>64.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.2</td></tr></table> 【次年度の方針】 様々な学習の場において、I C T機器や 図書資料等を積極的に活用していく。	教職員	97.1	保護者	64.9	地域住民	／	児童	89.2
	教職員	97.1										
	保護者	64.9										
	地域住民	／										
児童	89.2											
A11 児童は、高齢者に対す る感謝やいたわりの心 をもっている。 【数値指標】 児童は、誰に対しても、思 いやりの心をもって優しく 接している。 ＜地域アンケート90＞	○すべての学年で地域の高齢者との 「ふれあい学習」、「感謝の集い」等 を通し、高齢者を敬う気持ちをもた せる。 ・交通指導員さんや安全ボランティ アさん等への挨拶を進んで行うよう指 導する。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>91.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.1</td></tr></table> 【次年度の方針】 引き続き活動を継続していく。	教職員	100.0	保護者	90.9	地域住民	91.7	児童	90.1	
教職員	100.0											
保護者	90.9											
地域住民	91.7											
児童	90.1											
A12 児童は、「持続可能な 社会」について、関心を もっている。 【数値指標】 児童は、環境問題や防災等 の「持続可能な社会」につ いて、関心をもっている。 ＜児童アンケート85＞	○生活科や理科・社会科・総合的な学 習の時間などにおいて、環境問題や 防災等の「持続可能な社会」につ いて、意図的に取り上げ、正しい知識 と判断力を身に付けさせる。 ・調べたり探究したりする活動におい て、自分の思いや考えを伝え合う場 を意図的に設定し、学習活動の充実 を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>64.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>87.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 持続可能な社会の学びの場を計画的に位 置づけ、主体的な学びを支援していく。	教職員	64.7	保護者	／	地域住民	／	児童	87.0	
教職員	64.7											
保護者	／											
地域住民	／											
児童	87.0											
A13 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実 態に応じて、適切な支援 をしている。 【数値指標】 教職員は、特別な支援を必 要とする児童や外国人児童 等の実態に応じて、適切な支 援をしている。 ＜教職員アンケート90＞	○学級間の情報交換を密にし、広く児 童理解に努め、情報を共有しながら、 組織的に児童の教育に当たる。 ・ケース会議を実施する。 ・朝の打ち合わせや職員会議におい て、情報共有を図る。 ・必要に応じて専門機関との連携を図 る。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 早期対応を心掛け、専門機関と協力する ことで、個に応じた適切な支援が行えるよ うにする。	教職員	100.0	保護者	／	地域住民	／	児童	／	
教職員	100.0											
保護者	／											
地域住民	／											
児童	／											
A14 教職員は、いじめが許 されない行為であるこ とを指導している。 【数値指標】 先生方は、いじめが許され ないことを熱心に指導して くれる ＜児童アンケート90＞	○「いじめ防止基本方針」に則り、教 育活動全体を通して「いじめは決して 許されない」ことを理解させると ともに、「いじめゼロ集会」等、いじ め防止に向けての児童の主体的な取 組を支援する。また、学校だよりや 学年だより、ホームページなどを通 して、学校の取組を発信していく。 ・「いじめゼロ宣言」を児童一人一人が 作成し、学級で話し合うことにより、 いじめ防止に向けた児童の意識高揚 を図る。 ・各種アンケートの結果やQ-Uの結果 を生かしたり道徳の授業を通じてい じめの未然防止に努めたりする。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>92.7</td></tr><tr><td>児童</td><td>98.6</td></tr></table> 【次年度の方針】 例年の取組を引き続き行うとともに、本 校のいじめ対策への取組やいじめゼロ集会 の様子、いじめに関する道徳授業参観の様 子などを積極的に発信する。	教職員	100.0	保護者	80.5	地域住民	92.7	児童	98.6	
教職員	100.0											
保護者	80.5											
地域住民	92.7											
児童	98.6											

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。 <児童アンケート90%>	○ケース会議や教育相談の充実を図り、児童一人一人のニーズや悩みを把握し、関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた指導を展開する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.8%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>96.5%</td></tr></table> 【次年度の方針】 早期発見早期対応を合言葉に、一人一人との関係を大切に、学年、学校全体で協力しながら居心地の良い学級づくりに取り組んでいく。	教職員	100.0%	保護者	90.8%	地域住民	／	児童	96.5%
教職員	100.0%									
保護者	90.8%									
地域住民	／									
児童	96.5%									
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。 <教職員アンケート90%>	○専門機関との情報交換を密にし、広く児童理解に努め、情報を共有しながら、組織的に児童の教育に当たる。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 専門機関と協力することで、個に応じた適切な支援が行えるようにする。	教職員	100.0%	保護者	／	地域住民	／	児童	／
教職員	100.0%									
保護者	／									
地域住民	／									
児童	／									
A17 学校は、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 私は、今の学校が好きです。 <児童アンケート85%>	○「ほめて伸ばす」指導を心掛け、児童一人一人が存在感をもち、自己実現の喜びを実感できる学級経営を実践する。 ・学校行事や児童会活動、係活動において児童が主体的に活動できる場を多く設定する。 ・縦割り班活動を効果的に実施し、異学年児童同士の交流機会を充実させる。 ・担任と児童、児童同士の良好な関係を築くため、長い休み時間（明保タイム）を活用し、交流の機会を確保する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.6%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>94.6%</td></tr><tr><td>児童</td><td>92.5%</td></tr></table> 【次年度の方針】 「ほめて伸ばす」指導を心掛け、一人一人の児童が楽しく学校生活を送れるよう全職員が協力して指導に取り組む。	教職員	100.0%	保護者	93.6%	地域住民	94.6%	児童	92.5%
教職員	100.0%									
保護者	93.6%									
地域住民	94.6%									
児童	92.5%									
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 先生方の授業は分りやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。 <児童アンケート90%>	○分かる授業を展開するため、ねらいの明確化、板書・発問の工夫、ノート指導の充実を図る。 ・各種学習調査の結果を分析し、児童の実態に即した学習指導を行う。 ・視聴覚教材を効果的に活用し、学習内容の理解を深める。 ・高学年の算数において、学習内容に応じてＴＴや習熟度別学習を効果的に実施するなど、学習形態の工夫を図り、個に応じた指導を行う。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>97.7%</td></tr></table> 【次年度の方針】 今後とも学力向上に向け、きめ細かな指導を心がけるとともに、一人一授業を生かした校内研修を継続し、各教員の指導力向上を図る。	教職員	100.0%	保護者	87.5%	地域住民	／	児童	97.7%
教職員	100.0%									
保護者	87.5%									
地域住民	／									
児童	97.7%									
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 <教職員アンケート90%>	・関係教員との連携を深めるため、時間割を調整し、情報共有、意見交換の時間を確保する。 ・司書教諭や教科主任、特別支援教育コーディネーター、管理職等によるコーディネートを円滑に行い、各スタッフの専門性が十分に生かされるようにする。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 今後とも学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組めるよう連絡調整を密にしていこうとする。	教職員	100.0%	保護者	／	地域住民	／	児童	／
教職員	100.0%									
保護者	／									
地域住民	／									
児童	／									

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 <教職員アンケート90%>	・学校図書館司書業務嘱託員やALT、かがやきルーム指導員、スクールカウンセラー、学校業務嘱託員等、専門性を有する職員による学習支援、生活支援、環境整備を充実させることにより、教員が児童と向き合う時間の拡充を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 今後も教職員の勤務時間の効率的な使い方を進める方法を工夫していくようにする。	教職員	100.0%	保護者	／	地域住民	／	児童	／
教職員	100.0%									
保護者	／									
地域住民	／									
児童	／									
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 <保護者アンケート80%>	○地域学校園での「あいさつ運動」の充実を図る。 ○図書館や食育等、各種学校園だよりの発行や児童生徒指導の情報交換等により、小中学校間の連携を深める。 ・校内における「小中一貫教育研修」を定期的実施し、各部の活動方針や指導内容を共有し、実践につなげる。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>91.2%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>71.6%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>74.1%</td></tr><tr><td>児童</td><td>67.6%</td></tr></table> 【次年度の方針】 小中一貫教育の取組を保護者により伝えるように各種だより等を通してアピールし啓発していくようにする。	教職員	91.2%	保護者	71.6%	地域住民	74.1%	児童	67.6%
教職員	91.2%									
保護者	71.6%									
地域住民	74.1%									
児童	67.6%									
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 <地域アンケート90%>	・地域コーディネーターとの協力体制を整え、地域教材や企業、地域人材、学校支援ボランティアなどの地域の教育力を生かした教育活動を計画的に実施する。 ・地域の歴史や施設調べ、安全マップ作成など、地域を題材とした学習を充実させることで、地域への関心を高める。 ・生活科・社会科・総合的な学習の時間などにおいて、地域の施設や地域人材を活用した学習を積極的に実施する。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>95.8%</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.5%</td></tr></table> 【次年度の方針】 現在も十分に充実している地域の教育力を生かした特色ある教育活動を維持するとともに、協力関係を確固たるものにしていくようにする。	教職員	100.0%	保護者	88.7%	地域住民	95.8%	児童	91.5%
教職員	100.0%									
保護者	88.7%									
地域住民	95.8%									
児童	91.5%									
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。 <児童アンケート90%>	・高齢者とのふれあい学習や学習ボランティアとの交流をとおり、地域に親しみをもたせる。 ・地域の行事を積極的に児童に紹介したり、地域の話題を学級内で取り上げたりすることで、行事参加へ向け児童の意欲を高める。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>95.8%</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.5%</td></tr></table> 【次年度の方針】 現在も充実している高齢者とのふれあい学習や、学習ボランティアとの交流を維持・発展させていけるように努力する。	教職員	100.0%	保護者	88.7%	地域住民	95.8%	児童	91.5%
教職員	100.0%									
保護者	88.7%									
地域住民	95.8%									
児童	91.5%									
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 <保護者アンケート90%>	・学習や生活の意欲向上を図り、豊かな情操を養うため、校舎内外の整備に努め、校内各所の掲示板を計画的に活用する。 ・毎月の安全点検を十分に行い、児童の安全な生活のため、補修、修繕を速やかに行う。 ・日頃から教職員で、学校環境に目を配り、改善を図っていく。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.2%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 本年度の具体策を継続していきながら、安全点検以外でも、教職員が学校環境に目を配っていくようにする。	教職員	100.0%	保護者	92.2%	地域住民	100.0%	児童	／
教職員	100.0%									
保護者	92.2%									
地域住民	100.0%									
児童	／									

	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。 <児童アンケート85%>	○国語科や理科・社会科・総合的な学習の時間などにおいて、I C T 機器や図書等を学習に活用する機会を意図的に設定する。 ・調べたり探究したりする活動において、コンピュータや図書等を効果的に活用したり、図書館司書と連携したりして学習活動の充実を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>97.1%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>64.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.2%</td></tr></table> 【次年度の方針】 様々な学習の場において、I C T 機器や図書資料等を積極的に活用していくとともに、図書資料を計画的に拡充していく。	教職員	97.1%	保護者	64.9%	地域住民	／	児童	89.2%
教職員	97.1%										
保護者	64.9%										
地域住民	／										
児童	89.2%										
本校の特色・課題等	B1 教職員は、学校課題に関する研究に主体的に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員は、主体的に授業研究に取り組み、指導の工夫改善に努めている。 <教職員アンケート90%>	・学校課題に基づいて、研究のねらいを明確にしながら協働的に研究を進める。 ・一人一授業を公開し、児童の学びの姿を参観し合い、指導法について意見を交わすことによって授業改善に努める。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>／</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>／</td></tr></table> 【次年度の方針】 今後とも、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、道徳の研究授業や一人一授業を生かした校内研修を継続し、各教員の指導力向上を図る。	教職員	100.0%	保護者	／	地域住民	／	児童	／
	教職員	100.0%									
	保護者	／									
地域住民	／										
児童	／										
B2 読書の習慣化を図る。 【数値指標】 児童は、本をよく読んだり、調べる学習などで本を使ったりしている。 <児童アンケート90%>	・朝の活動（月・水・木曜日）を読書や読み聞かせの時間とし、進んで本に親しむ態度を養う。 ・「クレヨンの会」による読み聞かせや、図書委員会による読み聞かせや良書紹介で読書への関心を高め、読書の幅を広める。 ・始業時間前に図書室を開館するとともに、読書ノートや必読書リストを活用し、読書指導の充実を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69.1%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.9%</td></tr></table> 【次年度の方針】 多様な本に親しむ活動を継続させるとともに、読書指導の充実を図り、読書習慣の向上を図るようにする。	教職員	100.0%	保護者	69.1%	地域住民	／	児童	91.9%	
教職員	100.0%										
保護者	69.1%										
地域住民	／										
児童	91.9%										
B3 家庭学習の習慣化を図る。 【数値指標】 児童は、宿題や家庭学習を忘れずにやっている。 <児童アンケート85%>	・「家庭学習のヒント」を活用し、発達段階に応じた家庭学習の内容と方法を具体的に指導する。 ・「家庭学習強化週間」を設定し、家庭学習の状況を振り返らせ、認め励ますことで学習意欲を高める。また、保護者の協力を得ながら、家庭での学習習慣の定着を図っていく。	B 【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>／</td></tr><tr><td>児童</td><td>85.5%</td></tr></table> 【次年度の方針】 家庭学習強化週間を継続するとともに、保護者の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を図っていく。	教職員	100.0%	保護者	88.7%	地域住民	／	児童	85.5%	
教職員	100.0%										
保護者	88.7%										
地域住民	／										
児童	85.5%										

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・28項目中25項目で目標数値指標を上回ることができた。
- ・保護者アンケート回収率が96.7%⇒98.6%と1.9ポイント上昇した。また、地域住民アンケート回答数が34人⇒64人と30名増加した。
- ・コロナ禍のため、アンケート結果が悪くなると予想していたが、概ね良好との結果を得ることができた。
- ・児童の評価では、多くの項目において8割以上の肯定的評価を得ており、児童の自己肯定感や自己有用感は、比較的高い水準を維持していると思われる。児童、地域住民、保護者、教職員の肯定的回答状況から、児童は概ね落ち着いて生活し、学習への取組状況も良好であるとうかがえる。児童の実態を詳しく分析し、実態に即した指導・支援を継続することで、更なる改善を図っていきたい。
- 「A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」の項目については、全ての肯定的回答の割合が昨年よりもアップした。保護者以外は、市の平均も上回っている。今後とも現在の具体策を継続していきながら、検温・手洗い等の徹底を図り、より一層健康や安全に生活できるよう取り組んでいきたい。
- 「A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」の項目については、児童の肯定的回答の割合が昨年よりアップし、保護者の割合は昨年同様であった。例年の取組を引き続き行うとともに、本校のいじめ対策への取組やいじめゼロ集会の様子、いじめに関する道徳授業参観の様子などを積極的に発信していく。
- 「A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」の項目については、全ての肯定的回答の割合が昨年よりもアップし、市の平均も上回った。早期発見早期対応を合言葉に一人一人との関係を大切に、学年・学校全体で協力しながら居心地の良い学級づくりに今後も取り組んでいく。
- 「A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」については、全ての肯定的回答の割合が市小学校全体の平均を上回っており、保護者の割合は昨年よりもアップした。今までの具体策を継続していきながら、安全点検以外でも教職員が学校環境に目を配っていくようにしたい。
- ・「A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」の項目については、教職員・保護者の肯定的回答の割合が昨年よりアップした。しかし、児童・地域住民の肯定的回答の割合は昨年を下回り、特に地域住民については78.7%と大きく下回った。原因の一つとして、コロナ禍のため安全ボランティアの皆さん全員に郵送にてアンケートをお願いしたことが考えられる。保護者・地域住民の評価が低いため、今後とも学校での指導を強化するとともに、校内での取組を引き続き学校だよりや学年だより等で定期的に掲載し、保護者や地域住民に協力を呼び掛けていきたい。
- ・「A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。」の項目については、肯定的回答の割合が昨年を下回り、市小学校全体の平均も下回った。様々な教科で機会を捉えて宇都宮の良さを学習したり授業の充実を図ったりして、宇都宮に愛着をもてるようにしていきたい。
- ・「A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」「A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。」の項目については、児童・教職員の肯定的回答の割合が昨年を上回り市小学校全体の平均も上回ったが、保護者の割合は昨年を下回った。様々な学習の場において、ICT機器や図書資料等を積極的に活用していくとともに、図書資料を計画的に拡充していきたい。
- ・「A21 学校は、小中一貫・地域学校園の取組を行っている。」の項目については、昨年を下回り、市小学校全体の平均も下回った。小中一貫教育の取組を保護者により伝わるように各種だより等を通してアピールし啓発していくようにする。

7 学校関係者評価

- ・地域住民からは、「今年は学校に行く機会が減り、判断できない。」などの意見が多く寄せられた。
- ・挨拶について、子供たちは随分とできるようになってきたが、まだ声が小さい。挨拶の習慣化を図るには、家庭での教育も必要で、保護者が手本を示すことも大切と考える。来校した際、校内では子供たちから元気な挨拶が返ってきている。
- ・登下校の様子を見守っているが、上級生が下級生にやさしく接するなど、思いやりの様子も見られる。
- ・地域の方が子供たちを温かく見守ってくださっている。感謝する気持ちを子供たちにしっかりと伝えていきたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・アンケート結果から、学校の教育活動全般にわたり一定の肯定的な評価を得られたものと捉える。今後も、児童の自己肯定感や自己有用感を高める教育に力を入れていく。
- 学習面に関しては、互いの意見をしっかりと聞き、学び合う集団づくりの育成に努め、今後も学力向上につなげていきたい。特に、自分の考えや思いを明確にもたせ、分かりやすく聞き手に伝える体験を大切に扱っていく。
- 生活面に関しては、特に「自ら進んで挨拶をする」に向けて、今後も工夫、改善しながら具体的な取組を継続していきたい。挨拶運動の効果により、望ましい挨拶の習慣が形成されつつある。家庭や地域と連携して挨拶の習慣化を図りたい。
- 「いじめ問題」への対応については、いじめ防止に向けた児童の創意ある主体的な活動を実現できるよう今後も支援していくとともに、いじめの早期解決に向けた学校体制の在り方を含め、学校の取組を積極的に保護者や地域に伝え、学校の信頼をより高められるよう努めたい。